

アショク・クリシュナマティ (Ashok Krishnamurthi)

CEO 兼 会長

シーゴシステムズ(以下シーゴ)の創設者の一人であり、現在はCEOと会長を兼任する。マネジメントとエンジニアリングの両分野において18年以上の実績を有す。

シーゴ入社以前は、米ジュニパーネットワークス社の初期段階からエンジニアとして会社の成長に貢献し、インフラストラクチャプロダクト部門のゼネラル・マネージャとバイス・プレジデントを歴任。それ以前は、米サン・マイクロシステムズ社、米フィリップス社、米ゼロックス社のパロアルト研究所や米AT&T社のベル研究所において、マネジメント職およびエンジニアリングに携わった。インドのマニパル大学と米シラキューズ大学でコンピュータ・エンジニアリングの理学士号と修士号をそれぞれ取得している。

スティーブン・ヘイリー (Steven Haley)

社長兼 COO(最高執行責任者)

コンピュータ業界とネットワーク業界において、販売、サービス、マーケティングの全社組織の構築に29年以上活躍している。ヘイリーはサービスプロバイダ及び企業ネットワークのコアを担うIPルータ分野で世界的大手の米ジュニパーネットワークス社では、創設役員のひとりとして全世界の業務、営業、サービスを担当する副社長を務めた。この間、ヘイリーの率いるチームはジュニパー社の年間売上をゼロから10億ドルまで成長させた。

ジュニパー入社前の米シスコシステムズ社では、全社の営業統括と情報通信/サービス・プロバイダマーケットを担当する副社長と、WAN製品営業を担当する副社長のふたつの役割を担った。シスコ社の前は、米StrataCom社(1996年にシスコ社により買収)に7年間在籍し、事業所長、事業部長、上級取締役を歴任した。ボストンカレッジとマサチューセッツ大学アマースト校にてビジネスの学位を取得した。

S.K. ビノッド (S.K. Vinod)

マーケティングおよび事業開発担当副社長

シーゴのマーケティングおよび事業開発を指揮している。サーバ、マイクロプロセッサ、ASIC分野のマーケティングと製品マネジメントに12年以上の実績を持つ。シーゴシステムズ創設に関わる前は米サンマイクロシステムズ社に在籍し、同社で最も成功した製品のひとつであるNetra T1を含むエントリクラス・サーバ製品ライン、次いでブレード・サーバ製品ラインの責任者を歴任した。Netra T1とその発展型である後継サーバは2億ドルを超える年間売上を記録した。

サンマイクロ社の前は、Xerox PARC(パロアルト研究所)の新規研究部門のひとつで活躍した。オーストラリア、シドニーのニューサウスウェールズ大学でMBAを取得したほか、カリフォルニア大学アーバイン校でも勉学を重ねた。

ジョン・トウアー (Jon Toor)

マーケティング担当副社長

20年以上にわたるストレージ業界での経験を携えて、マーケティング担当副社長としてシーゴに迎えられた。シーゴ入社前は米 ONStor 社でマーケティング担当副社長を務めた。その前は米 Maxtor 社のマーケティング部門長として、NAS 製品を供給するために立ち上がったばかりのネットワーク・システムズ・グループのマーケティング部門を率いた。Maxtor 社の前は、ハードディスク・ドライブ開発企業のひとつである米 Micropolis 社の副社長を2年間務めた。米 Quantum 社でマーケティング部長を務めた経験も持ち、エンタープライズ向けストレージ製品の戦略遂行を監督した。また米 Seagate 社では技術責任者として活躍した経験を持つ。機械工学理学士、経済学学士、MBA はすべてスタンフォード大学で取得した。

ジェイミン・ジュー (Jieming Zhu)

技術担当副社長

シーゴシステムズ入社前は、米 LogLogic 社の技術担当副社長としてゼロから技術チームを作り上げ、技術ロードマップ、製品供給、製造関連業務の責任者を務めた。

LogLogic 社の前は米 Brocade Communications Systems 社にかかわり、創設間もない企業からストレージ・エリア・ネットワーク分野の主導的企業に育つまでの間、大きな貢献を果たした。Brocade 社ではソフトウェア技術担当副社長のほか、システム・アーキテクチャおよびテクノロジー担当副社長を始め、役員として多くの重要な役割を担った。ジューの産業界での活躍は米 NCR 社(現在は LSI Logic の一部)のマイクロエレクトロニクス事業部から始まり、ここで SCSI ホストバス・アダプタのドライバを設計した後、黎明期にあるファイバチャネルの技術開発に携わった。

ストレージ・ネットワークとデータセンター・テクノロジーの分野で複数の特許を所有している。復旦大学(Fudan University、上海)で理学士を取得、ジョージ・メイソン大学(米国バージニア州)から学位を取得した。

ランディ・ジファー (Randy Ziffer)

業務部門担当副社長

シーゴ製品の製造と販売網に対して世界全体での管理に責任を持つ。コンピュータ、データ・ネットワーク、情報通信の各業界で製造とサプライチェーン管理に25年以上の実績を積んでいる。

Wang Laboratories、サンマイクロシステムズ、デルコンピュータなど複数の米国コンピュータ企業で様々な管理職を歴任した。サンマイクロシステムズ社では、スコットランドのリンリスゴーを拠点とする欧州向け製造事業の立上げと運営管理を担当した。同社の東海岸製造事業部のスピノフを成功裏に導き、現在の Mack Technologies (契約製造企業)を作り上げ、同社社長として事業規模を3年で3億ドル以上に育て上げた。最近では Ipsilon Networks、Calient Networks、Atrica を含めた米国企業において、データ・ネットワーク向けや情報通信向け製品の立上げを担当する副社長を歴任した。国際ビジネスに幅広い経験を持ち、英国、スコットランド、シンガポールで7年以上の長期滞在を経験するほか、ボストン大学ではエンジニアリング・マネジメントを学んでいる。

アリエル・コーエン (Ariel Cohen)

技術担当副社長

シーゴシステムズ入社前は米 Topspin Communications 社でプリンシパル・サイエンティストおよびアーキテクトを務め、仮想 I/O やハイパフォーマンス・コンピューティング、データベースを対象として、RDMA 技術を基盤とするソリューションに力を注いだ。その前はベル研究所でネットワーク・ソフトウェア研究の部長を務め、Web キャッシュ機構と第 4-7 層のスイッチングとロードバランスの研究に集中した。

ヘブライ大学エルサレム校でコンピュータ・サイエンスの BS を取得し、カリフォルニア大学サンディエゴ校でコンピュータ・サイエンスの理学修士および博士号を取得している。マルチメディア、Web スwitching、RDMA ベース・プロトコル向けストレージ・システムの領域で論文活動を行っており、この領域では複数の特許を所有している。